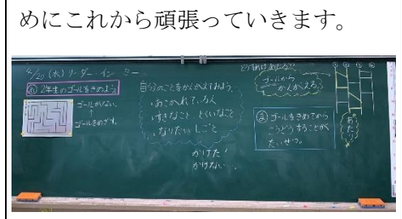
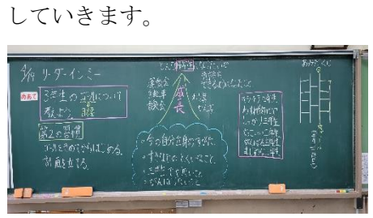
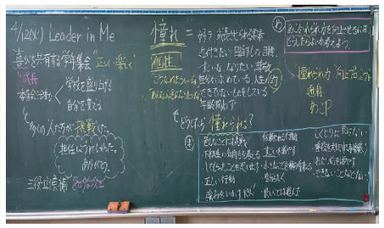
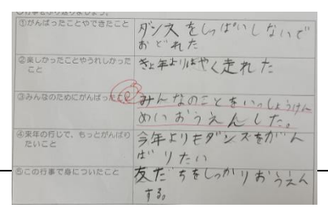
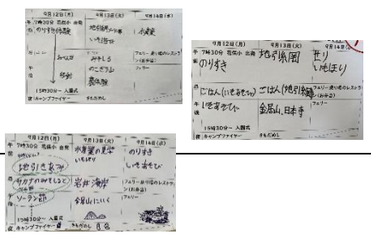
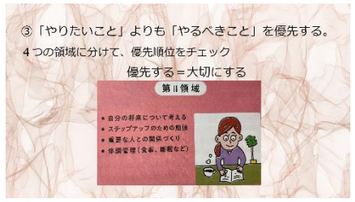
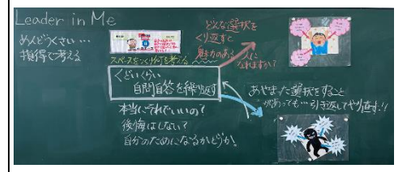
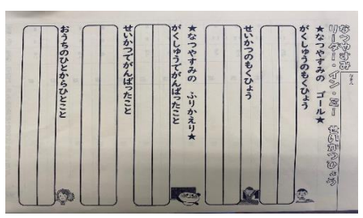
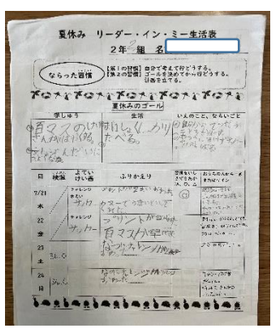
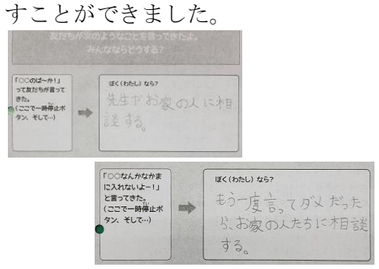
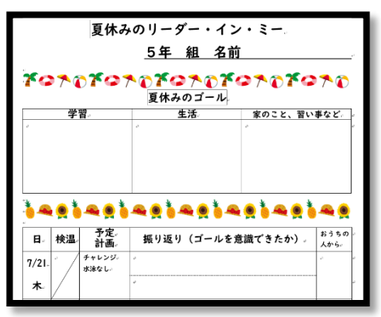
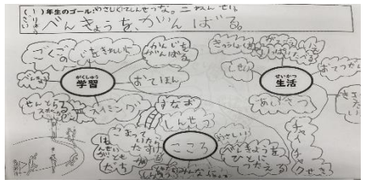
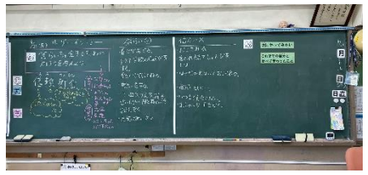
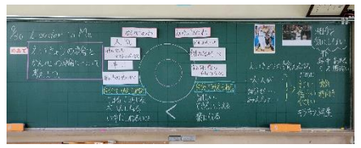
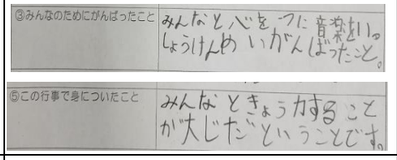
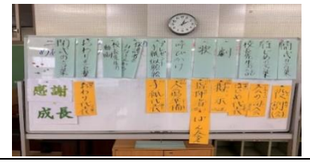
R4 今月の Leader in Me

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4月	花保っ子の仲間入りをしたぴかぴかの１年生。今年のテーマは、「ワンダイレクション」一人一人が、自分を好きに、自分を大切にできるようになることをゴールとし、学年で力を合わせて頑張っていきます。 早速取り組んでいるのは、ビー玉貯金です。クラスのみんなで目標を達成できたときに、ビー玉を貯金箱に入れます。朝の支度が時間以内にできるようになった、チャイム着席ができたなど、一人一人がリーダーとして頑張っています。 	２年生になり、教室が変わったり、転校生が来たり、担任の先生が変わったりと、心機一転。新しい１年が始まりました。 リーダー・イン・ミーの授業として、『第２の習慣　ゴールを決めてから行動する』を行いました。その後、２年生の終わりになりたい姿を想像し、「１年生の手本になる２年生になる。」そのために「自分から挨拶をする。」「百マス名人になる。」と小さい目標を立てて日々頑張っています。毎月、目標に向かってコツコツと努力し、３月にはなりたい自分になるためにこれから頑張っていきます。 	３年生に進級し、希望に満ちた表情の子どもたち７７名。運動会や音楽会などの行事、わり算や新しい漢字など、３年生で出会う学習内容について、１年間の見通しをもつ学習を行いました。 それらの行事や学習を通して、３年生のゴールの日、どのような姿に成長していたいか、考えました。「キラキラ３年生」「がんばる３年生」「わすれ物ゼロの３年生」など、自分なりの目標を立てることができました。自分で立てたゴールの姿になれるよう、毎月の計画も立て、努力していきます。 	下の３つの絵、何に見えますか。左から「トロフィー」「振り向く女性」「おじいちゃんとおばあちゃん」と、それぞれ答える子どもたち。もちろん正解です。多くの人がそう見ると思います。でも、視点を変えると・・・何に見えるかは、お子さんに聞いてみてください。 視点を変えて物事を見ることを、「Leader in me」では、パラダイムシフトと呼んでいます。パラダイムシフトを起こすことで、違う世界が目の前に広がっていきます。「自分にはできない」ではなく「絶対にできるはず」と、自分の見方を変えていきましょう。 	クラス替えをし、新しい友達や先生と出会った５年生。委員会が始まったりクラブに後輩が入ってきたりし、高学年としての自覚が芽生えてきました。 授業では、今年度の取り組み「人生の設計図」とは何かを考えました。赤塚不二夫先生に対する弔辞を聞いたことをきっかけに、人生のゴールとは何か、自分は人にどう思われたいのか…。また、無理のない設計図はどのようなものなのか…。そのことを考えた上で、人生のゴールと４月のゴールを一人一人設定しました。 	花保、５０年の歴史に選ばれた６年生！花保の顔として、最高学年として下級生の憧れの的になるために必要なことは何なのか、みんなで話し合いました。題して**「憧れられ力向上プロジェクト」**、略して**「あこP」**。子どもたちからは、憧れられるために「多くのことに挑戦する。」「今までの先輩方にしてもらったことをする。」「当たり前にすべきことを当たり前にする。」「しくじってもめげない。」などが出てきました。来月は実際にプロジェクトチームを発足し、様々な企画をします。お楽しみに。 
5月	１年生になって、初めての大きな学校行事、創立５０周年記念運動会。「一人一人がリーダー！」を合言葉にして練習に取り組みました。本番の大成功をゴールとして、練習では何をすればよいのか、どうしたらもっと良くなるのかを考え、目標を立てました。運動会を通して、ゴールを決めてから計画を立てる大切さを感じることができました。今回学んだ、自分で自分のリーダーとなること、みんなで協力して大きな力を発揮することを、これからの日常生活で生かしていきます。 	２回目の運動会で昨年よりも成長した姿を観客の皆様に見てもらうために、練習を頑張りました。LIMの学習では、この運動会を通して、頑張りたいことを考えました。「ボールを一度も落とさないようにする。」「リレーのバトンパスを頑張る。」と書きました。そのために努力することとして、「家でもボールキャッチの練習をする。」「休み時間にバトンパスの練習をする。」と目標を立てることができました。振り返りをした際には、「みんなでタイミングを合わせてボールを投げることができた。」「心を一つにして走ったり、踊ったりすることができた。」と書いており、この行事を通して大きく成長することができました。	運動会で達成したい目標を立て、そのために自分がするべきことを考えました。「毎日ダンスの練習をする。」、「公園で走る。」など、真剣に自考えることができました。 運動会が終わった後の感想で、「ダンスが上手になった。」、「足が速くなった。」などの感想が見られました。また、「ダンスを成功させるため、友だちと息を合わせた。」、「みんなのことを一生懸命応援した。」など第２の習慣だけでなく、win-winを意識した振り返りが見られ、成長を感じました。 	リーダー・イン・ミーのキーワードは、「ポーズ」「ゴール」「信頼貯金」「シナジー」。今までに学んできたキーワードを思い出しながら、第1～3の習慣をおさらいしました。恐らく、誰に質問しても答えられますよ。４つのキーワード。是非、質問してみてください。 運動会では、本番で輝く自分の姿、つまりゴールを思い描きながら、一人一人意気込みを書きました。輝く自分を見せたいから、今練習を頑張れる。子どもたち一人一人の中に、リーダーが見えました。 	５年生と言えば、２泊３日の「鋸南自然教室」。９月の自然教室に向けて、準備を始めました。鋸南の実地踏査で配付された資料を子どもたち一人一人に配り、それを見ながら、２泊３日の日程を考えました。まずは、一人で考え、その後に３人～４人の班になり、日程を組みました。振り返りには、「一人で考えるのは大変…。」「一人で考えるのも大切だけど、友だちと考えると、もっと上手くいく！」と、第６の習慣を実感した様子でした。 	１年生から耳にタコができるほど聞いてきた**「ポーズ」**。今月はそのポーズについて、改めて考えました。刺激があると、まだまだ反応的な６年生。反応の前に一拍間を置く（**スペースをつくる**）ことができると、**良い選択**ができるようになるということ、その良い選択の積み重ねが自分の人生を豊かにするということを改めて学習しました。生活の中の事例をもとに、スペースの中で何を考え、どんな選択をすればよいのかみんなで話し合いました。反応的な人生ではなく、自分の中にリーダーをつくる人生を歩んでいく意識を高めました。

6月	運動会や学校探検を経て、改めて、「リーダー」とは何なのかを考えました。子どもたちからは、「みんなを助ける人」「仲間を引っ張る人」という『みんなのリーダー』と、「朝のしたくをきちんとする。」「綺麗な字を書く。」という『自分のリーダー』が出てきました。リーダーは、誰かに任せればよいわけではない、全員がリーダーになれるのだ、ということを学びました。一人一人が自分の良いところを見付け、何のリーダーになるのかを考え、意気込んでいました。 	大きな行事である運動会が終わり、次の目標（ゴール）を考えました。４月に考えた「２年生の終わりになりたい姿」になるために今月は何に力を入れて取り組むか、各自で具体的な目標を立てました。「相手の気持ちを考えてから話す。」「毎日、本を１冊読む。」「百ます計算を２分台で解く。」と、それぞれの目標に向かって頑張っています。日々努力し続ける子どもたちの成長が楽しみです。 	「習慣とは、何だろう？」、今月は改めて基本に立ち戻って考えました。「悪い習慣はすぐに身に付いてしまうけど、良い習慣は、努力しないと身に付かない。」「良い習慣を身に付けると、心がきれいになる。」など、たくさんの気付きが子どもたちから聞かれました。そして最後に、「毎日の積み重ねが習慣となり、自分の将来を決める。」というまとめができました。良い習慣を身に付けるために、これからも努力を続けてほしいと願っています。 	「第1～第3の習慣」をおさらいしました。第１～第3の習慣を7つの習慣では「私的成功」と呼びます。この習慣は全て、自分自身の中で取り組むことです。花保小学校では低学年で学んでいますが、これから改めて学んでいく第4～第7の習慣を自分の習慣にしていくためには、この第1～第3の習慣を理解している必要があります。そのため、改めて子どもたちと一緒に復習をしました。ただこれがまた習慣にするには少し難しいんです。振り返ると、私自身「習慣になっていないな」と感じることもしばしば。特に第3の習慣が難しいのです。 	総合的な学習の時間では、鋸南自然教室に向けての学習を進めています。６月は、「鋸南町の魅力を知ろう！」というテーマで、Google スライドを作成して友だちと伝え合いました。「進んでスライドを作ることができた！」（第１の習慣）、「鋸南自然教室というゴールに向けて学習を進めることができている。」（第２の習慣）、「友だちの話を自分の知っていることと比べながら聴くことができた！」（第５の習慣）と、総合的な学習の時間では、今まで学んできた７つの習慣を生かしながら学習を進めているということに気付くことができました。	今月は、前回学習した「スペース」の中で、何を考える必要があるのか話し合いました。子どもたちは、スペースの中で**「本当にそうしていいのかどうか。」「後悔はしないだろうか。」**ということを**自問自答**する必要があると考えました。これまで、無意識にやってきたことの積み重ねが今の自分を成しているということ、だからこそ、自分の行動は慎重に選ぶ必要があるということを再確認しました。より良い選択を積み重ね、今の自分を超え続けてほしいです。 
7月	夏休みも、スーパー１年生に近付くための大切な一歩一歩です。夏休みに取り組むリーダー・イン・ミー生活表では、９月１日、自分はどのようなリーダーになっていたいかを想像し、ゴールを決めました。そして、そのゴールに近付くための目標を立てました。「字を綺麗に書く。」と決めた児童は、早速丁寧に生活表の字を書いていました。ゴールが決まっていることで、一つ一つの行動に対する意識が高まりました。 	夏休みも今までに学んだ「第１の習慣：自分で考えて行動する。」「第２の習慣：ゴールを決めてから行動する。計画を立てる。」を生かして、夏休みのゴールを考えました。学習、生活、家のこと、習い事のこと、それぞれで目標を立てることができました。長い休みの間もゴールに向かってコツコツと努力し、夏休み明けに「やり切った！！」という顔の子どもたちに会えるのが楽しみです。 	「第一の習慣を生活に生かそう」をめあてに、どのような場面でポーズをとると良いか考えました。「悪口を言われた時は？」「仲間はずれにされた時は？」など、具体的な場面を想像し、自分ならどのように行動するか、考えました。ポーズをとって行動することのよさについて、たくさん意見が出てきました。更に、ポーズをとることから子どもたちの話し合いはどんどん深まり、友だちと信頼関係を築くことやなかよくすることの大切さについても活発に意見を交わすことができました。 	【シナジーを生み出すために必要なこととは！？】「シナジー」聞きなれない言葉ですね。日本語に訳すと、「相乗効果」です。1+1＝2。これは算数の概念。でも７つの習慣では、1+1＝3以上なのです。第４、第５の習慣を最大限に活用して、話し合いをすると、新たな案を生み出すことができるということです。しかし、シナジーを生み出すためには話し合いのルールもあるのです。夏休み前にこれを学び、この学びを生かして夏休み明けには、たくさん話合いを重ね、９月21日には研究授業に臨みます。子どもたちを応援してあげてください。	いよいよ待ちに待った夏休み！「夏休みも成長し続けたい！」という５年生は、学習面、生活面、習い事や家のことの３つの観点で、ゴールを決めてから長期休みに入りました。 長い夏休みだからこそチャレンジできることに取り組んで、さらにレベルアップした子どもたちに会える日が楽しみです。 	「錆びついた刃で木を切ることはできない。」そんな話から始まった第７の習慣「刃を研ぐ」の学習。今まで１～６の習慣まで学んできましたが、どの習慣も第７の習慣がなければ力が発揮できません。自分の人生をより良くするためには、４つの刃（頭・心・体・人との関わり）を磨かなければいけないということ、４つの刃をバランスよく磨くことが大切だということを学びました。それぞれの刃を研ぐために何ができるのか、それを実行するためにどうすればよいのか、子どもたちと共に考えていきます。

9月	２年生ときょうだいペアで遠足に行きました。１年生のために、たくさんの準備をし、当日リードしてくれたお兄さん、お姉さん。その姿を見て、このような２年生になりたい、という思いが更にふくらみました。そのためには、今の自分は何を頑張るべきかを考え、リーダー認定証の設計図に、新しい目標を書き加えました。目指すべきゴールが明確になったからこそ、はっきりとした目標が増えました。 	花保小学校の児童として『信頼貯金』という言葉は知っている２年生。信頼貯金を貯める方法を考えました。信頼を得るためには「自分で起きる。」「自分で学校の準備をする。」「よい姿勢で目と耳と心で話を聞く。」と、話し合いをする中で、見つけることができました。これからは「あいさつを自分からしよう。」「当たり前のことを通して信頼されるようになろう。」と、これからの一つ一つの行動を見直し、意欲を高めました。今後の子どもたちに期待です！！ 	「天気は自分の力で変えられる？」「朝、起きる時刻はどう？」・・・。このような問いから出発した授業。今回は「影響の輪」と「関心の輪」について学びました。 天気や過去のテストに一喜一憂するよりも、自分がコントロールできる事に集中しよう。そうして、影響の輪を広げるとどうなるだろうか。 「周りから信頼される人になれる」、「勇気が身に付く」、「前向きになれる」・・・様々な考えが出てきました。 そして、「キラキラ３年生になれる！」と目を輝かせ、影響の輪を広げていこうとする気持ちを高めていました。 	「成功させよう！二分の一成人式」ということで、子供たちと始めた二分の一成人式までの道のり、自分たちで考えて、自分たちで作り出し、自分たちで成功させる。でもそこには、保護者の皆様や先生方、地域の方々など、多くの人たちに支えがあったということを、子供たちには感じてほしいと思っています。 ９月 21 日の研究授業では、子供たちはシナジーを発揮して、みんなが納得する案を探し続けました。時間の許す限り、あきらめることはありませんでした。この日に考えたことがもとになって、式当日のプログラムが決まります。保護者の皆様、ぜひともお楽しみにしていてください。	５年生は、９月１２～１４日に鋸南自然教室に行ってきました。初めての集団での宿泊学習。７つの習慣がとても大切なことに改めて気付きました。責任をもって自分の係の仕事をすること（第一の習慣）、５分前行動をする、見通しをもつこと（第二の習慣）、友だちと仲良くするために大切なこと（第４～６の習慣）などなど…。 気付いたことを学校生活でも生かせるように、どんな場面でどのように生かしていくのか、振り返りもしました。今後の５年生の活躍にも大注目です。 	**「努力は夢中に勝てない」**という言葉の意味について考える事から始まった授業。ネガティブな没頭よりもポジティブな没頭のほうが生み出す成果が大きくなります。とはいえ人生においては、好きではないけど頑張らなければいけないことも多々あるものです。そこで子どもたちは努力すべきことを夢中になれるものに変える方法を考えました。考え方を変えたり結果が出るまでやり続けたりすることで「好きなこと」に変えられるかもということを学ぶことができました。
10月	後期が始まり、これまでの当番活動について振り返りました。「忘れてしまうことがある。」「友達に任せている。」とそれぞれ自分自身を見つめなおしていました。そして、一人一人が責任をもち（第一の習慣）みんなが仕事をするとどんな良いことがあるか考えました。きちんと当番活動が行われた教室の写真を見て、「幸せな気持ちになる。」「心がふわふわになる。」と気付いた子どもたち。これからは、もっとみんなのために頑張りたい、と意欲を高めていました。 	来月の音楽会に向けて、鍵盤ハーモニカやそれぞれの楽器、歌の練習をしています。そこで第２の習慣「ゴールを決めてから始める。計画を立てる。」を用いて、最終目標【ゴール】を考えました。 「オブラディ・オブラダを完璧に演奏できるようになる。」「みんなで声をそろえて歌えるようになる。」と、それぞれ自分達で考えることができました。 今、そのゴールに向かって悔いのないよう、日々練習を頑張っていきます。１１月の音楽会本番がとても楽しみです。	いよいよ音楽会の練習が始まりました。本番まで３週間、どのような気持ちで過ごすのか、どのような態度で練習に取り組むのか、自分のめあてを考えました。そして、そのめあてを達成するために、具体的にどんなことをしていきたいのか、考えました。 「みんなと心を一つにして音楽会を成功させる。」「一つ一つの練習の時間を大切にする。」など、自分なりのめあてを立てることができました。 第２の習慣「ゴールを決めてから始める。計画を立てる。」 この習慣の大切さに気付くことができました。１１月の音楽会本番をお楽しみに！！	９月の研究授業から１か月、二分の一成人式に向けて子供たちの話し合いが進み、これから当日のプログラムを完成させるところまで来ています。どうやったら感謝や自分たちの成長を伝えることができるのかを、常に念頭に置きながら話し合いは進んでいます。 また、音楽会へ向けても自分たちで目標を決めて取り組んでいます。「最後から二番目だから、6 年生につなぐ大切な役割。自分たちの演奏で期待を膨らませたい」と、多くの児童が意気込んでいます。今まで積み重ねてきた、リーダー・イン・ミーの取り組みの成果が表れてきているように思いました。本番をお楽しみに！	前期が終わり、後期が始まった１０月。「夢デザインシート」を使って、前期の振り返りと後期のゴールの設定をしました。一人一人が自分を見つめ直し、新たな気持ちで後期をスタートさせようとしていました。 また、後期は、当番活動や係活動も変わります。よりクラスが良くなるためにどんな当番が必要なのか、このままのやり方でよいのだろうか…。国語のディベートの学習で学んだことを生かしながら話し合うことで、「シナジー」が生まれる場面も見られました。リーダー・イン・ミーの学習を生かして、教科学習や学級活動を深める子どもたち、すてきですね。	これから社会に出た時にどんな力が求められるのか、必要とされる人材とは何なのか。また、自分の強みを社会に出た時にどう生かすかを考えました。自分の強みを知る時に邪魔になってしまうのが、人と比べようとする気持ちです。自分の強みは何なのか、それは、自分がやっていて好きなこと、つまり行為、動詞の中にあるということも学びました。これから、自分の強みとそれが生かせる仕事について考え、その仕事に就くためにどんなことを磨けばいいのか調べ、考えていきます。
11月	月目標を、具体的に考えることができるようになってきました。１１月は、音楽会に向けて目標を立てる児童が多かったです。「大きな声で歌う。」「音楽会を大成功させる。」といったゴールを決めることで、「家でも	達成感に満ち溢れた音楽会でした。練習の何倍も良い成果を発揮し、笑顔で終えることができました。子どもたちは、「間違えずに演奏するだけでなく、指揮を見ながら演奏することができた。」「周りの楽器に合わ	大成功で終わった音楽会。保護者や地域の方々にたくさん褒めていただきました。子どもたちは、自分で計画を立て、練習に取り組みました。 「みんなと協力する力が身に付いた。」「みんなと息を合わせてリズムをとる	「感謝と成長を伝える二分の一成人式にする。」という視点をもって、総合的な学習の時間で話し合いを進めています。写真にあるのは、子どもたちが話し合いながら決めたプログラムと、役割分担です。	１１月は、５年生にとって大きな行事が２つありました。 １つは、音楽会。どんな演奏をして、聴いている人たちにどんな気持ちを伝えたいのか、「ゴール」を決めて一人一人が日々の練習に取り組み	少しお休みしていた「憧れられ力向上プロジェクト」がいよいよ再始動しました。各プロジェクトチームが学年の力を伸ばすために、自分たちの思い出を自らの力でつくるために、知恵を絞り、話し合い、企画を考

	鍵盤ハーモニカの練習をする。」「歌を全部覚える。」と計画的に練習に取り組むことができました。音楽会を終えた子どもたちは、とても誇らしげでした。自分の目標をやり遂げることで、自信と達成感を得ることができたことでしょう。	せて演奏することができた。」と、自分の立てていたゴール超えることができました。子どもたちの満足気な表情からこの音楽会を通して、また一つ成長し、自信をもつことができたのだと思いました。	ことができた。」など、友達と力を合わせることの良さをたくさん感じた音楽会となりました。 今回の取組を通して、第４の習慣win-winの考え方に気付く子どもも多くいました。この気付きを生かして、更に７つの習慣の学びを深めていきます。 	「成長と感謝を伝えるためには、プログラムをどんな順番にすればいいだろう。」 「このプログラムに必要な役割分担って何だろう。」 子どもたちが真剣に考え、取り組む二分の一成人式、とても楽しみです。 	ました。１週間前からは、休み時間や家庭学習で自主的に練習する子も見られました。 もう１つは、５０周年記念式典。各クラスの代表児童が、伝統の花保ソーランを披露しました。代表児童はもちろん自分から「やりたい！」と手を挙げています。 もうすぐ最高学年になる５年生。自分から進んで行動する姿が多く見られた１１月でした。さすがですね。	えています。子どもたちは活動の中で、みんなの意見を大切にすること、みんなに役割があることを大事にして話し合いを進めています。企画実現が楽しみです。
12月						
1月						
2月						
3月						